

事業実績書

- 1 事業名 学校と社会をつなぐ協力のプラットフォーム
- 2 実施期間 令和5年 4月 24日～令和 6年 3月 31日

3 事業内容

① 事業の目的・概要

目的

- ・高校生が大人や社会とつながりながら自己成長する
- ・高校生が自分の興味関心などについて探究したり挑戦したりできる環境をつくり、地域の教育力を高める

概要

■ 放課後キャリア探究

高校生の希望者が参加して、自分のやりたいことや進路実現に向けての問い（行動目標や動機）を形成する。

対象：高校生

実施校：①矢掛高校②鴨方高校③倉敷鷺羽高校

場所：学校の空き教室など

所要時間・実施頻度：月2回程度、1.5時間/回

■ 学校外活動への参加

地域の大人たちの仕事や社会活動などに参加する。

対象：高校生

場所：企業・団体の事業所等

■ 生き方百科

様々な大人の生き方（問いと行動）を取材し、その記事を中高生・大学生の進路学習等に活用する。また、学校教員の人材検索ツールとしても活用可能性を探る。

対象：中高生・学校教員

② 事業の流れ等

■ 放課後キャリア探究

高校生の希望者が参加して、自分のやりたいことや進路実現に向けての問い（行動目標や動機）を形成していく。

[Phase1] 踊り場：大学生や大人と楽しくおしゃべりしたりする

高校生は様々な過ごし方をしている。自分の趣味のことを話したりしている生徒もいれば、就職に向けて志望動機を書いたり、学校の課題をしている生徒もいる。

[Phase2] 開示：やりたいことや気になることについて話す

スタッフとの関係性ができると、「〇〇やりたいと思っているんですけど…」 「〇〇

の分野に興味があつて…」など、自分のやりたいことや気になることなどについて高校生の自己開示がある。

[Phase3] 越境：学校の外に飛び出してチャレンジする

開示された内容から「じゃあ、〇〇してみる？」というような問いかけを返して、行動目標を生徒と一緒につくる。やってみることが決まったら、必要に応じて地域のリソース（人・モノ）を活用して学校外活動に参加する。

■ 学校外活動への参加

参加前

- ・協力してくれる企業や団体、個人の方を探し訪問日等を調整する
- ・企業訪問の企画は、上記該当者以外にも高校を超えて参加者募集を行う
- ・参加に向けての高校生とのやりとりは（学校と切り離して）だっぴ公式 LINE で行う

当日

- ・高校生は企業社員や地域の大人から話を聞いたり、活動をともにしたりして学びを深める

参加後

- ・振り返りも兼ねてアンケートをとる
- ・当日の様子や訪問先からのインプット内容を生き方百科もしくは note に記事として公開する

■ 生き方百科

取材

- ・地域の大人あるいは企業を大学生がインタビューを行い、記事を作成する
- ・上記のような学校外活動での大人との対談を記事にする

活用

- ・生き方百科を活用した中学校・高校の進路学習の授業を行う
- ・SNS（Twitter・Instagram）で記事を発信する
- ・学校教員等が外部人材を活用するときの検索ツールとして使用する

▽note『「生き方百科」を人材プラットフォームとして、学校と社会をつなげる！』



③ 成果・効果

■ 放課後キャリア探究

3校合計 35 回、人の高校生が参加。

※別紙参照

▽矢掛高校「キャリアラボ」



▽鴨方高校「放課後カフェ」



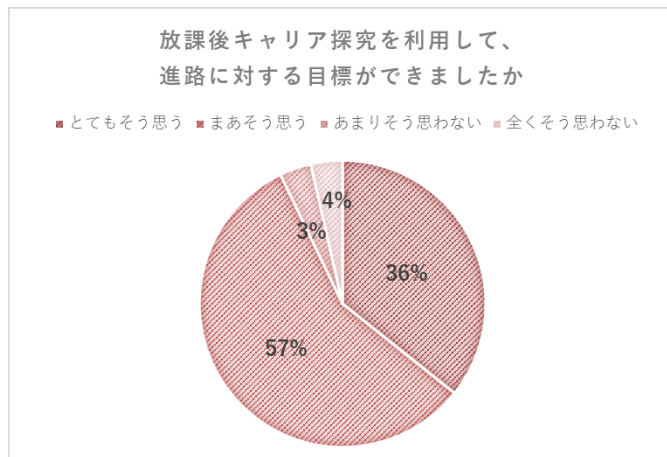
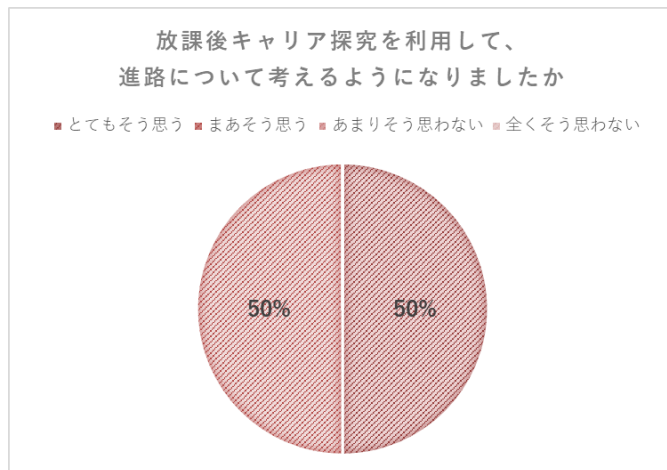
▽倉敷鷺羽高校「放課後のわ！しゅう」

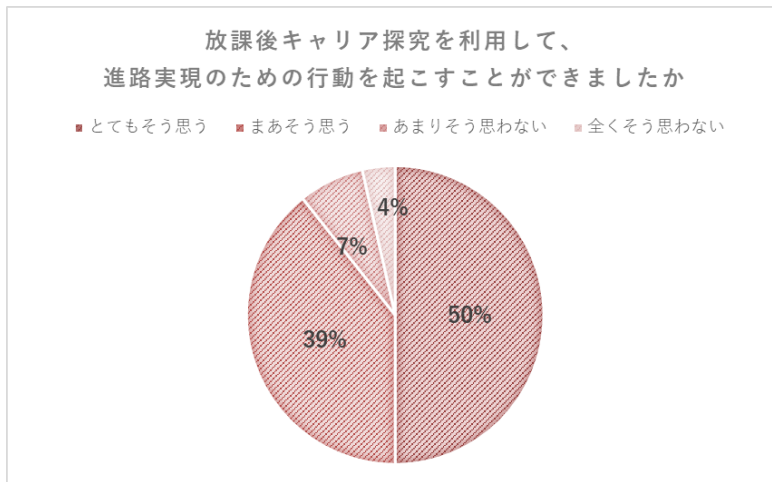


参加者感想

- ・キャリアラボを通して、多くの大人や他の参加者と話すことで視野を広げたり、自分の進路への後押しに繋がったのが利用してて凄くよかった。また、お菓子を食べながらリラックスして、たくさんの人とコミュニケーションをとれたのも楽しかった。
- ・本当にいろんな大人と関わることができて、まず何より楽しかった。人それぞれ生き方が多様すぎて、なんでもありなんだなぁと気づけた上に、世の中にはそんな仕事があったんだ!という気づきもあって、参加していて本当に楽しかった。
- ・大人の人たちと楽しくコミュニケーションがとることができた。
- ・すごい大人が沢山いるんだなと思った。すごい大人でも自分と似てるところがあって、近く感じられる時もあったし、話が面白くて聞きやすかった。「洋画見てごらん」とアドバイスしてくださって、英語嫌いが緩くなったきっかけのひとつになったから良かった。友達とお菓子食べながら話すことが楽しかった。
- ・自分の知りたい気持ちを追求するため、気になる分野の方とお話をする機会を設けて頂けることになり、嬉しかったです。
- ・将来の夢を真剣に聞いてくれたりしてとても楽しかったです。
- ・悩むことがあって、それを誰にも相談できなくて、言える人がいてくれたからたくさんお話しできて良かったです。
- ・面接の内容を考えるとどういう風に考えたら良いかなどのアドバイスをいただきました。とてもためになりました。

アンケート結果





■ 学校外活動への参加

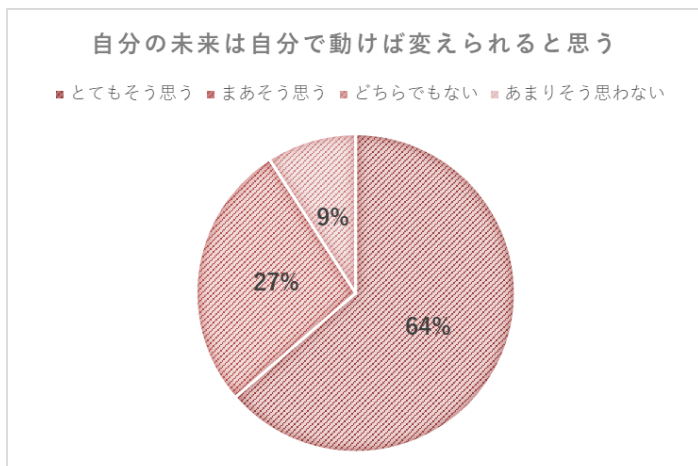
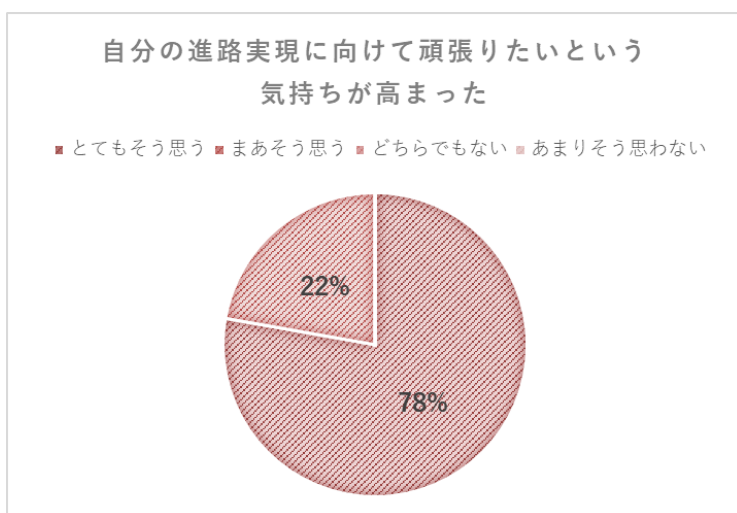
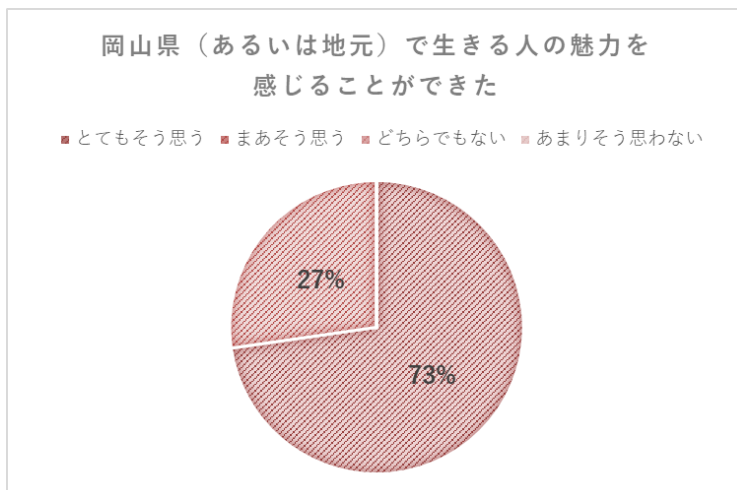
合計 12 回、23 人の高校生が参加。

※別紙参照

参加者感想

- ・就職活動をする時は、実際に企業に行ったり、その企業の人のお話を聞くことは、とても大切で自分のためになる機会だと分かった。シーピー化成はいい就職先かも。地元で一生懸命働くという人生は素敵だと改めて分かった。
- ・私がやりたい文学研究は院生までにとりあえずできそうなことが分かりました。初めて具体的に文学研究について知れたのでとてもよい機会でした。今さら文学研究をしてどれだけの価値があるのだろうと私は思っていたけど、そんなに心配しなくても良さそうだと仰ってもらえたのが個人的には嬉しかったです。あと、留学についても価値はあると思えたし、その留学についてのお話の中で海外の論文を読むためのネットワークがないと知れて、私がそれを作りたと思いました。職業について研究職しかないと思っていたけど、選択肢が広がったと実感しました。
- ・子どもは 1 人の人間として接するという考え方がすごくいいと思った。アースエイトに来るまでは先生と生徒という考え方だったので、その違いが印象に残った。子どもは体が小さく、経験が少ないだけで、大人は体が大きく、経験があるだけという言葉がとても心に残った。私もその考え方で子どもと接したいと思った。(中略) 学び続けることを大切にこれからも過ごそうと思った。自分もアースエイトのような所で働きたいと思うし、自分の子どもができたときには通わせたいとも思った。アースエイトにインターンシップしたい!
- ・ドーナツもめっちゃ美味しくて、実際に美容師として働いている人や美容師から別の道に行った人の話を聞いて自分の未来の想像ができてよかった。寄島は自分の近くでこんな活動をしてる人がいるんだということを知れて面白かった

アンケート結果



■ 生き方百科

記事数：24 本

アクティブユーザー：10,478 (2023. 4. 1～2024. 02. 15)

月間最高：1,501 (2023. 12)

エンゲージメント率¹：58.55%（2023.4.1～2024.02.15）

月間最高：60.21%（2024.01）

活用校：下記7校にて生き方百科を活用した授業を展開

倉敷翠松高校、矢掛高校、明誠学院高校、林野高校

船穂中学校（倉敷市）、里庄中学校（里庄町）、瀬戸中学校（岡山市）

※授業ワークシートへの記入内容については別紙参照

読者（高校生）の声

- ・IT 関連の仕事につく人は話さなくても良いと思っていたけど、実際には同じチームの人たちとたくさん話をしないといけないんだと知った。話をするのは嫌いではないけどあまり得意じゃないから私も似ているところがあるなと思った。周囲を気にせず「Yes, I can.」で色々なことに挑戦してみようと思った。
- ・行動力がすごいと思った。何も考えずにとりあえずやろうという人と、自分に自信があるから行動しようという人がいると思う。まず先にとりあえずやってみて、自分に自信をつけてやっていきたいと思う。

インタビューとなった大学生の感想

- ・話しながら自分を客観的に見たり、インタビューの最初には質問を受けてくださることへの感謝を述べるなど、たくさんのことを学びました。最初は受け答えが失礼になっていないか、時間内に聞きたいことが聞けるか不安で緊張していました。しかし、回数を重ねるうちに会話が盛り上がり、笑顔で答えてくださる場面が増えたりして、事前準備をしておいて良かったと感じました。
- ・インタビューした方の考え方を参考に、様々なことに一生懸命挑戦するよう心がけるようになった。岡山にもこんな職業があったんだ！と気づくことができた。インタビューをする前よりも、相手から話を聞くときの姿勢が身に付いたように感じる。以前も今もとても緊張するが、インタビューの方との話がとても楽しかった。人と会話するのが好きなんだな、と自分を知ることができた。

【目標1】自分なりの「問い」をもつ高校生を増やす

測定方法：アンケート項目「放課後キャリア探究を利用して、進路に対する目標ができましたか」

評価指標・測定方法	数値目標		
	当初	今年度	実績
放課後キャリア探究の参加者数	延べ100人	延べ400人	延べ550人
【評価指標】 上記アンケート項目への肯定回答（とてもそう思う・まあそう思う）率	—	80%	93%

¹ ページビュー、スクロール、リンクをクリックなど、「ユーザーにとって価値のある行動をとったかどうか」

【目標2】 “とにかくやってみる” ことができる高校生を増やす

測定方法：アンケート項目「放課後キャリア探究を利用して、進路実現のための行動を起こすことができましたか」

評価指標・測定方法	数値目標		
	当初	今年度	実績
学校外活動への参加者数	5人	30人	23人
【評価指標】 上記アンケート項目への肯定回答（ とてもそう思う・まあそう思う）率	—	70%	89%

【目標3】 地域に生きる魅力に触れる高校生を増やす

測定方法：アンケート項目「岡山県（あるいは地元）で生きる人の魅力を感じることができた」

評価指標・測定方法	数値目標		
	当初	今年度	実績
【評価指標】 上記アンケート項目への肯定回答（ とてもそう思う・まあそう思う）率	60% ²	70%	89%

④ 今後の課題・展開等

■ 放課後キャリア探究・学校外活動

- ・偶発性を高める教室環境を整備する
（県外の）大学案内の設置 → 県外の大学の存在を認知する
大学や企業からのミッションを掲示 → 生徒が掲示されたプロジェクトに取り組む
- ・大学の入試広報予算をターゲットに、広告企画を試験展開する

■ 生き方百科

- ・作成する記事のコンセプトを再整理して、分かりやすいコンセプトをつくる
- ・広告モデルを確立する
- ・ターゲットごと（学生/保護者/学校教員）の利活用の幅を広げる

⑤ 県民局と協働した効果及び課題

■ 効果

広報：RSK ラジオに出演し、本事業の紹介を行うことができた。

協力依頼：企業などに協力依頼をする際に、行政の提案型協働事業であるという説明によって先方の懸念を払拭できた。

■ 課題

県民局に教育分野を所掌する部署がないことによる、教育分野への知識・情報量の不足。

² 参考値としてNPO だっぴの別アンケートにて「私は地域に愛着を感じている」の回答結果を参照

4 参考事項・資料

写真（データでも提出すること）

■ 放課後キャリア探究



■ 学校外活動



■ 生き方百科



当日資料（告知チラシ）



アンケート結果 他

学校外活動の感想記述

<p>新たな発見や気づき、学びなどを教えてください</p>	<p>今日の感想を教えてください</p>
<p>将来役立つ能力は、特別なものばかりではなく、今からでも実践できるような簡単なものもあったので、あまり身構えすぎる必要はないなと気づきました。</p>	<p>自分が目指しているお仕事に実際に就いておられる方へ直接お話を伺うことで、身の回りの情報だけでは知ることができなかった、疑問に対する答えを得ることができ、とても嬉しかったです。</p>
<p>勉強も大切だけれど、人脈やコミュニケーション能力も必要だということ 一つのことに特化し過ぎても良くないこと 色々なことに興味を持ち、なんでも行動してみることに</p>	<p>集合場所に向かう時に迷子になりかけてましたが、無事集合できて良かったと心底安心しています。 プラネタリウムは中々詳しく、分かりやすく説明されていて、三島さんの話がすごく聞きやすかったです。 その後の質問の時は、三島さんが詳しく話してくださったり、森分さんがフォローしてくれたり話をしてくれたので、すごく有意義な時間になったと思います。 今日は最高に学べた一日でした、ありがとうございました。</p>
<p>文学研究がもうやり尽くされていることについては心配しなくていいこと、留学も結構価値があること、海外の論文を読むためのネットワークがイマイチなこと、私がやりたい文学研究は院生までにとりあえずできそうなこと</p>	<p>初めて具体的に文学研究というものについて知れたのでとてもよい機会だった。私は今更文学研究してどれだけの価値があるのだろうと結構思っていたが、そんなに心配しなくても良さそうだと言ってもらえたのが個人的には嬉しかった。あと、留学についても価値はあると思えたと、その留学についてのお話の中で海外の論文を読むためのネットワークがないと知れて、私がそれを作りたいと思った。職業について研究職しかないと思っ</p>

	ていたけど、その選択肢が広がったと実感した。
プラスチックを作っている会社も、プラスチックの量を減らしたり、プラスチックに代わる環境に優しいものを開発したり工夫していることを知った。	とても緊張した。もう少し質問できれば良かった。
<p>・教員と子供の関係性</p> <p>先生と生徒ではなく同じ人間として接しているという考え方がすごくいいと思った。その考えの先生に担当して貰えると大人のいうことだから正しいなどの考え方がなく、自分で考えるということを意識せず、行えると思うから。私もその考え方をとり入れたいと思った。</p> <p>・おもちゃなど遊べるものが多い</p> <p>学ばせようとしないと学べない(知育=学び)と思っていたけど、遊ぶことで考える力や想像力、発想力など人間力が向上することがわかった。また、年齢で分けず交流して遊ぶことで年上も下も支え合うことが出来ることを知ることが出来た。</p> <p>・話し合うことが大切</p> <p>発達段階によって先生の役目が変わってくることを知った。3歳は言葉足らずであったりするので、仲介に入る必要がある場合もあり、4.5歳になると自分たちで自分の気持ちを伝えることが出来るので、先生は見守ることが大切だと感じた。何か嫌なことをされた時には怒るのではなく、嫌だったと伝えることが大切。そこから子供は考えるのだと思った。</p>	<p>・教員の子供は1人の人間として接するという考え方がすごくいいと思った。Earth8に来るまでは先生と生徒という考え方だったので、そこが違うのがすごく印象に残った。子供は体が小さく、経験が少ないだけで、大人は体が大きく、経験があるだけという言葉がとても心に残った。私もその考え方で子供と接したいと思った。</p> <p>・自然の中でたくさん学ぶことが多いと聞いて、私は小さい頃から山で遊んで来たから知らないうちに力を身につけてきたのかなと思った。</p> <p>・学び続けることを大切にしてこれからも過ごそうと思った。</p> <p>・私の知ってる幼稚園との違いがすごく感じれて、このような幼稚園が多くなり、それが日常となっていったら日本はすごく最新になると思った。自分もEarth8のような所で働きたいと思うし、自分の子供が出来たときには通わせたいとも思った。</p>
<p>・就職活動をする時は、実際に企業に行ったり、その企業の人の話を聞くことは、とても大切で自分のためになる機会だと分かった。</p> <p>・シーピー化成はいい就職先かも。</p> <p>・地元で一生懸命働くという人生は素敵だと改めて分かった。</p> <p>・SDGsを1番意識できる企業だと思う。</p>	<p>自分の進路に関わる行動をしてこなかったのが、今回は良い機会でした。1番驚いたのは工場で働く外国人がほとんどいないことです。</p> <p>工場すべてを見たかったです</p>
<p>今まで見てきたり職場体験したところは職員は子供達をくんなどをつけて読んでいたけどアースエイトは職員も子供たちも呼び捨てで呼びあっていて呼び捨てで呼びあった方が職員と子供たちが同じ立場になっていていいと思いました。</p>	<p>中学校の職場体験と高校に入ってから夏休みに地元の保育園を体験するときはあったけどその時とは違うことばかりで新たな気づき(呼び捨てで呼びあった方が立場が対等になるなど)があって楽しかったです。</p>
<p>井原の企業がどれだけ人々の生活に関わっていることを知れた。</p>	<p>50年間継続して黒字経営をしていることに驚いた。コロナ禍でも売上が落ちなかったことを知り、どれだけ自分達の生活にプラスチック容器が関わっているかが分かった。</p>

<p>美容師のなり方について遠く感じてた物が身近に感じれるようになった。専門学校に行っても道がひとつじゃないってことを知れてよかった</p>	<p>ドーナツもめっちゃ美味しくて、実際に美容師として働いている人や美容師から別の道に行った人の話を聞いて自分の未来の想像ができてよかった。寄島は自分の近くでこんな活動をしてる人がいるんだということを知れて面白かった</p>
<p>ドーナツ屋さんを始めようと思った動機が思いやりにあふれててすごいなって思いました！ 寄島での体験は、里山のためのこととかお試し住宅やランドリー屋さんの再活用など地域活性化につながるいろんなこと知れました。</p>	<p>自分の進路のためになる体験ができて良かったです！！地域の方との交流が楽しかったです。 学校の行事ではない、社会人の方のお話を聞くことができたのもよかったです。 ドーナツ美味しかった！</p>
<p>富士ペークライトの仕事内容を知り、普段知らない仕事内容を見れてとても良かったです。</p>	<p>進路の幅が広がり、とても良かったです。</p>